

AMDA 緊急救援活動

救える命があればどこへでも

イタリア地震被害に対する緊急支援活動

2009年4月6日イタリア共和国アブルツォ州ラクイラ(ローマから北東に約95キロ)でマグニチュード6.3の地震が発生しました。歴史的建造物の多い市街地を中心に建物が倒壊し、イタリア政府の発表によると、4月末までに死者約290人、負傷者約1,000人、住宅を失った人約48,000人が確認されました。

AMDAは、地震発生直後からイタリア北部にある Institute of International Sociology Gorizia と主に足の不自由な障害者を支援するカトリック系ボランティア組織である UNITALSI から情報収集を行い、4月10日、この甚大な被害に対し、被災者への医療支援を視野に、医師1人、調整員1人の計2人を派遣しました。

11日、イタリアに到着したAMDAスタッフは、情報提供を受けてきた協力団体 UNITALSI のメンバーとして、被災地ラクイラに入りました。被災地では、被害の大きかったラクイラ市街、被災者支援を実施している組織が前線基地として使うコーディネーションセンター、避難キャンプ、大学病院を訪問し、医療ニーズの調査を実施しました。

被災者は、政府、地方自治体、民間組織の連携の下、運営されている避難キャンプで、避難生活を送っていました。官民ともに、事前に訓練を受けたスタッフが支援に携わり、被災者に対して十分な人、支援物資、サービスが提供されていました。例えば、訪問した Bagno 避難キャンプでは、550人の被災者に対して、150人のボランティアが支援していました。被災者は、内務省から配布された4メートル四方のブルーテントに家族ごとで生活し、それぞれのテントには、小型発電機から電気が供給されていました。テントは、大きな運動場やショッピングセンターの駐車場に整然と設置されていました。キャンプ内には、被災者に3食温かい食事を提供する食堂車両、100人ほどが食事をとれる広いダイニング用のテント(音楽を聴きながら食事が取れるように大型のスピーカーが備え付けられている)、車椅子のまま入れるトイレ、24時間使用可能なシャワールーム、洗濯乾燥機が備え付けられたコンテナ、支援物資を保管したコンテナがありました。このような避難キャンプの運営は、日本の災害支援でも取り入れるところが多くあると感じました。



被害の大きかったラクイラ市街を視察する津曲医師



ダイニング用のテントでは、イースターの食事が振舞われた(4月12日撮影)



テント病棟の入院患者を見舞う津曲医師

医療に関しては、イタリア赤十字、イタリア全土から駆け付けた緊急医療の専門スタッフ、消防、軍などが中心となって、被災者の支援を実施していました。訪問した大学病院は、地震により、使用不可能となっていました。隣接する駐車場にトリアージテント、各診療科のテント他の仮設病棟が設置されていました。地震前に入院していた患者300人の多くは、既に域外の病院に転送され、100人ほどが、仮設テント病棟に入院しており、規模を縮小しながらも病院は機能していました。また、ラクイラの医療支援を統括している Mucciconi 医師に面会しました。遠く日本から支援の可能性を探るべく被災地を訪問したことに対する感謝とねぎらいの言葉を頂きました。医療支援については、全国の病院スタッフ、イタリア赤十字、消防、軍他からの十分な医療スタッフが確保され、被災者へのケアもできているということでした。このような経緯から、AMDA は、医療支援を実施しないことを決定

し、代わりに、協力団体であり、Piazza d'Armi の避難民キャンプを運営している UNITALSI に義捐金を贈り、被災者の避難生活に役立ててもらうことにしました。

イタリア地震被害に対する緊急支援活動 (1P から続く)

UNITALSIからは、感謝状を頂きました。

「AMDAの支援に感謝しています。AMDAの義捐金によって、被災したラクイラの人々、特に最も手を差し伸べられるべき病人やご高齢者に対して、支援を継続することができます」と感謝の言葉を頂きました。

【派遣者】計2人

AMDA本部 津曲 兼司 医師 4/10～15

AMDA本部 谷口 敬一郎 調整員 4/10～19

【派遣先】イタリア共和国アブルツォ州ラクイラ及び
フリウリ=ヴェネツィア・ジュリア州ゴリツィア

【協力団体】

Institute of International Sociology Gorizia :

イタリア北部ゴリツィアにある社会経済分野を中心とした研究機関。国連経済社会理事会の特殊協議資格も持つ。

UNITALSI:障害者の移動・交通を支援するボランティア組織



協力団体UNITALSIから↑
の感謝状

避難キャンプには、食堂車
両、トイレ、シャワールー
ム、洗濯乾燥機他が完備→



閉鎖された大学病院の駐車場に仮設のテント病棟が並ぶ



タンゲランのダム近郊の被害状況 診療所で診察するAMDAインドネシア医師

インドネシア・ダム決壊被害に対する 緊急救援活動

2009年3月27日午前2時頃、連日の豪雨のため、ジャカルタ近郊バンテン州タンゲランのダムが決壊し、死者98人、負傷者190人、行方不明者5人、171人以上が避難する被害が発生しました(3月30日WHO発表)。

3月27日AMDAインドネシア支部が緊急医療チーム(医師2人・医学生1人)を被災地に派遣することを決定し、30日医療チームは被災地に入りました。地元の関係者から情報収集を行った後、31日に避難所において診療を開始しました。被災地では医薬品の不足が伝えられていたことから、AMDAインドネシアチームは、事前に抗生物質、ビタミン剤、下痢、咳止め、炎症剤等を調達し、被災地で診療にあたりました。4月3日にAMDAインドネシア支部長アンディ・フスニ・タンラ医師と、副支部長シャリフディン・ワヒド医師が被災地を訪れ診療に加わりました。4月6日に診療を終了するまでに36人を診療しました。

主な疾患は、風邪・咳(30.5%)、傷口感染(22.2%)、皮膚疾患(11.1%)、消化器疾患(11.1%)、その他(25.1%)でした。

4月2日にムハマディヤ大学の医療チームに対して医薬品を寄贈しました。ムハマディヤ大学は、今回の災害の避難場所となったところです。3日には子どもの心的外傷を和らげるための遊びやビデオ上映会を実施し、本や文具セット(50セット)も配布しました。

コンボ 再訪

近藤 麻理

岡山大学大学院 准教授

(元AMDAコンボ難民緊急救援活動調整員)

AMDAが、コンボ難民緊急救援活動を開始してちょうど10年が過ぎた今年、私の赴任終了後から9年ぶりに、コンボを訪問することになりました。AMDAは、1999年4月から隣国のアルバニアでの難民救援活動を行っていました。難民キャンプ以外での、民家や自分の車で寝泊りしている人々を支援するため、主に巡回診療に力を入れていました。そして、和平協定後の1999年5月末には、現地調査を終え状況を考慮した上で、活動を帰還難民への復興支援に切り替え、活動拠点をコンボ自治州の南端ブリズレン県に移しました。

ちょうどその頃、ネジール君(当時4歳)の父親と、近隣で暮らすAMDAスタッフと私たちが道を歩いていたときに出会ったというのです。すっかり、その時のことは忘れていた私でしたが、今回ネジール君と父親は「この場所だよ」と高い木の下を指して教えてくれました。この出会いから、AMDA本部や現地での情報収集や支援への依頼が始まりました。網膜芽細胞腫という「目のがん」で、すでに右目を摘出し義眼であったネジール君は、その後継続的な治療を必要としていましたが受けられませんでした。日本も含めて近隣諸国での治療を考慮して動きましたが、一番早く返事が戻ってきたのが日本の金沢大学病院だったのでした。

ネジール君と両親の来日は、2000年7月7日に叶いました。その後の治療や報告は、テレビの全国放送で放映されていますので、皆さんも見守

ってくださったこと
と思います。

ネジール君の日本
者の方々、産経新聞
の皆様など、数え切れ
なり実現することが
多くの募金が寄せ
の子どもが助か
晴らしいことです。
られないのか?とい
現場で活動してい
藤がありました。そ
ちが、やはり助け
ねてきていたから
ようなことは決して
援の倫理のようなも

AMDAはその後、
ナ病院医学部から、
での研修に招聘して
AMDAコンボ支部長
医師です。今年で50
取得し、今は眼科教
た。日本から寄贈さ
多くの患者を助けて
コソボには技術者
師自らが機械を丁寧
スまで一人で行いな
品同様であることも
の眼科医の1人と、

AMDAはその後、
ナ病院医学部から、
での研修に招聘して
AMDAコンボ支部長
医師です。今年で50
取得し、今は眼科教
た。日本から寄贈さ
多くの患者を助けて
コソボには技術者
師自らが機械を丁寧
スまで一人で行いな
品同様であることも
の眼科医の1人と、

AMDAはその後、
ナ病院医学部から、
での研修に招聘して
AMDAコンボ支部長
医師です。今年で50
取得し、今は眼科教
た。日本から寄贈さ
多くの患者を助けて
コソボには技術者
師自らが機械を丁寧
スまで一人で行いな
品同様であることも
の眼科医の1人と、

AMDA 社会開発機構

平和とは今日の家族の生活と明日の希望を実現できる状況

長期プロジェクト実施国



特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

AMDAグループの一員として、世界7カ国の農村地域や都市スラムにおいて、地域住民の貧困削減や健康増進を目指した社会開発事業を実施しています。

〒700-0818 岡山市北区蕃山町45 岡山繊維会館3階
電話: 086-232-8815 FAX: 086-232-7668
Email: info@ml.amda-minds.org http://www.amda-minds.org/

特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター

在日外国人等を対象に、電話で各国語により、言葉の通じる医療機関の紹介や医療福祉制度など医療情報の提供を行っています。また、外国人患者受け入れに取り組む日本の医療機関に外国人の医療に関する情報を提供し、スムーズな受け入れを支援しています。

センター東京 事務電話: 03-5285-8086 相談電話: 03-5285-8088
センター関西 電話: 06-4395-0555
http://homepage3.nifty.com/amdack/

行きは、大使館や外務省関係
明美ちゃん基金、AMDA会員
しないほどの人々にお世話に
できました。

られ、色々な方の善意で一人
ったという事実は、本当に素
しかし、たった一人しか助け
う疑問は残ります。そして、
私たちにとっては、大きな葛
れは、多くの子どもや大人た
欲しいとAMDAを個別に訪
す。私たちが、人を選別する
あってはいけないと、人道支
のを感じていました。



中央筆者、手をつないでいるのが現在のネジール君

自治州内最大のプリスティ
若い優秀な医師1人を、日本
ています。それが、現在の
のガズメンド・カチャニク
歳となり、2年前に博士号を
室の教授に就任してしまし
れたレーザー機器を使い、多
ることもよくわかりました。
がないため、ガズメンド医
に扱い掃除をし、メンテナン
から、その機械は現在まで新
わかりました。さらに、若手
看護師1人と3人でレーザー

治療のチームを組んでおり、若手医師はすでにか
かなりの技術を身につけていました。こうして、た
った一人からのスタートが、医師への研修に広がり、その医師が大きく成長し、次世代の若手医師
や医学生を育成するということにつながっている
ことを確認しました。

さらにネジール君ですが、現在では13歳とな
り、2008年には金沢を再訪し大学病院で義眼の取
替えと経過を見たところ、病気は完治したといえ
るとの診断をいただいていた。

今回、ネジール君の家から数分のところにある
学校を訪問すると、クラスメイトたちと大騒ぎを
しながら遊んでいる彼の様子を見ることができま
した。明るく、前を向き、しっかりと地に足をつ
けて生きているのだなと思いました。

美しいプリズレンの町並みは、10年前と比べると
嘘のように普通の生活の中に溶け込んでいまし
た。もちろん、道路にはコソボ治安維持部隊の軍用
車や軍人姿が多く見られますし、停電など不便な
ことはまだまだあるようですが、2008年に独立し
たばかりの新しい小さな国は、活気に満ち溢れて
いました。

ネジール君の10年間をとおして、人道支援で一
人の人を助けること、多くの人を助けることの意
味をもう一度考える機会となりました。そのきっ
かけは、フジテレビの「奇跡体験!アンビリバボー」
で放映される予定(5月21日)です。AMDAが行
ってきたことも含めて、寄付をお寄せくださった
皆様にもこのような活動があったということを知
っていただければと思います。もちろん、AMDA
の現地での活動は、これがメインではなく、あくま
でもより多くの人々への診療活動が主でした。
最後に本音を漏らしますと、このネジール君のこ
とは仕事が終了した深夜におこなうことが多く、
へへとだったという記憶しか残っていなかったり
するのです。ですから、このような結果になった
のは、誰の意図でも、シナリオがあったわけでも
なく、ネジール君が強運の持ち主だったこと、そし
て、彼は今後も自分の人生を切り開いて進んでい
くのだろうと、今回の再訪で確信したことをお
伝えいたします。

(2009年5月)

ボランティアセンター

人間は誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある

第2回あすか健康村フェスティバル開催



高齢者疑似体験コーナー

4月19日(日)、昨年に続き「あすか健康村フェスティバル」が盛況のうちに開催されました。

地元の岡山市北区平津学区を中心に地域の各コミュニティが中心となり、実行委員会が組織され、AMDА事務局内にその実行委員会が設置されました。(社福)遊々会と(医)アスカ会の老人福祉施設敷地内に20張りを超えるテントが並び、介護保険紹介、様々な体験コーナー、海外留学生による各国料理、こどもの昔玩具あそび、エコ



AMDА バザーコーナー

体験蠟燭作り等々、「健康・福祉」「環境」「国際交流」にまたがる複合的な地域イベントとして、徐々に地元に根付きつつあることが実感された春の一日でした。

「AJ AMDА カード」によるご支援!

地元岡山に本社を置く全日信販株式会社(AJ)様より、半期ごとに支援金のご寄付をいただいています。

組織基盤を支え必要な活動がいつでも行えるようにと、カード利用金額の一部を企業が負担してAMDАにご支援いただく社会貢献の形として平成8年に発足して以来、一貫して半期ごとの支援金贈呈を続けてくださり、これまでの累計額

は3000万円を超え各事業また計上経費に活用させていただきました。

旅行傷害保険他様々な特典もついています。ご利用者には負担はありません。どうぞ皆様も、お買い物の際は、この国際貢献支援型カードのご利用をとおして、AMDАの活動をご支援いただければと思います。



2008年度下半期分支援金贈呈式

AJ (全日信販) AMDА カード (クレジットカード) 年会費永年無料

ご利用額の一部に相当する金額をAJが負担し、AMDАに寄付されます。(お客様へのご負担はありません)

お問い合わせ・お申し込みは、全日信販クレジットセンター
Tel (086)292-4222
<http://aj-card.co.jp>



AJ AMDА カード

■ AMDА 会員の募集

	年会費	※医師・一般・学生・法人会員には、活動報告誌『AMDАジャーナル』を年4回、『AMDАダイジェスト (AMDАジャーナル号外)』を年2回、賛助会員には、『AMDАダイジェスト (AMDАジャーナル号外)』を年2回送付しています。
医師会員	15,000円	
一般会員	10,000円	
学生会員	7,500円	
法人会員	30,000円	
賛助会員	2,000円	

*入会ご希望の方は、同封の郵便払込取扱票の裏面をご覧ください、必要事項をご記入の上ご入会の手続きをお取りください。

緊急救援活動への参加を希望される方の登録制度 AMDА「ERネットワーク」のご案内

AMDАは自然災害、紛争等による被災者(難民)に対応するため、緊急救援活動を実施してきました。より迅速な初動体制を確立するため、登録制度「ERネットワーク日本」を整備しています。緊急救援活動派遣を希望される方(医師・看護師・助産師 他)は、「ERネットワーク」にご登録ください。資料をご希望の方はご連絡ください。なお、ご登録者には緊急救援初動の際にお声をかけさせていただきますが、登録により活動参加義務が発生することはありません。登録に関するお問い合わせは下記をお願いします。

特定非営利活動法人 アムダ 〒701-1202 岡山市北区楠津310-1
TEL: 086-284-7730 FAX: 086-284-8959 E-mail member@amda.or.jp

書き損じハガキを集めています

書き損じハガキがありましたらAMDАまでお寄せください。切手と交換し、通信費として使わせて頂いています。未使用切手・ハガキも集めています。

※お問い合わせは
TEL 086-284-7730
FAX 086-284-8959



ザンビア
ルサカ市内貧困地域
結核対策事業
コミュニティセンター運営支援事業

基礎保健サービス向上支援事業
生活向上（マクロクワインクス）事業
コ・カン特別区
母子保健・栄養改善事業

ビル
リマ市内貧困地域
栄養改善・エンパワーメント促進

コソボ 再訪

近藤 麻理
岡山大学大学院 准教授
(元 AMDA コソボ難民緊急救援活動調整員)

AMDA が、コソボ難民緊急救援活動を開始して
ちようど10年が過ぎた今年、私の赴任終了後か
ら9年ぶりに、コソボを訪問することになりました。
AMDA は、1999年4月から隣国のアルバニア
での難民救援活動を行っていました。難民キ
ャンプ以外での、民家や自分の車で寝泊りして
いる人々を支援するため、主に巡回診療に力を
入れていました。そして、和平協定後の1999年
5月末には、現地調査を終え状況を考慮した上
で、活動を帰還難民への復興支援に切り替え、活
動拠点をコソボ自治州の南端「プリズレン」県に移
しました。

ちようどその頃、ネジール君（当時4歳）の父
親と、近隣で暮らすAMDAスタッフと私たちが
道を歩いていたときに出会ったというのです。
すつかり、その時のことは忘れていた私でした
が、今回ネジール君と父親は「この場所だよ」と
高い木の下を指して教えてくれました。この出
会いから、AMDA本部や現地での情報収集や支
援への依頼が始まりました。網膜芽細胞腫とい
う“目のがん”で、すでに右目を摘出し義眼であ
ったネジール君は、その後継続的な治療を必要
としていました。が受けられませんでした。日本
も含めて近隣諸国での治療を考慮して動きまし
たが、一番早く返事が戻ってきたのが日本の金
沢大学病院だったのです。

ネジール君と両親の来日は、2000年7月7日に
叶いました。その後の治療や報告は、テレビの全
国放送で放映されていますので、皆さんも見守

特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

AMDA グループの一員として、世界7カ国の農村地域や都市ス
ラムにおいて、地域住民の貧困削減や健康増進を目指した社会開発
事業を実施しています。
〒700-0818 岡山市北区番山町4-5 岡山繊維会館3階
電話: 086-232-8815 FAX: 086-232-7668
Email: info@ml.amda-minds.org http://www.amda-minds.org/

特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター

在日外国人等を対象に、電話で各国語により、言葉の通じる
機関の紹介や医療福祉制度など医療情報の提供を行っています。
た、外国人患者受け入れに取組む日本の医療機関に外国人の
に関する情報を提供し、スムーズな受け入れを支援していま
せんター東京 事務電話: 03-5285-8086 相談電話: 03-5285-
センター関西 電話: 06-4395-0555
http://homepage3.nifty.com/amdadack/

ってくださつたこ
とと思います。

ネジール君の日本行きは、大使館や外務省関係
者の方々、産経新聞明美ちゃん基金、AMDA会員
の皆様など、数え切れないほどの人々にお世話に
なり実現することができました。

多くの募金が寄せられ、色々な方の善意で一
人の子どもの命が助かったという事実は、本当に素
晴らしいことです。しかし、たった一人しか助け
られないのか？という疑問は残ります。そして、
現場で活動していた私たちにとつては、大きな葛
藤がありました。それは、多くの子どもや大人た
ちが、やはり助けて欲しいとAMDAを個別に訪
ねてきていたからです。私たちが、人を選別する
ようなことは決してあってはいけません。人道支
援の倫理のようなものを感じていました。

AMDA はその後、自治州内最大のプリズレン
ナ病院医学部から、若い優秀な医師1人を、日本
での研修に招聘しています。それが、現在の
AMDA コソボ支部長のガズメンド・カチャニク
医師です。今年で50歳となり、2年前に博士号を
取得し、今は眼科教室の教授に就任していまし
た。日本から寄贈されたレーザー機器を使い、多
くの患者を助けていることもよくわかりました。
コソボには技術者がいないため、ガズメンド医
師自らが機械を丁寧に扱い掃除をし、メンテナンス
まで一人でやっているのでもわかりました。さらに、若手
の眼科医の1人と、看護師1人と3人でレーザー



中央筆者、手をつないでいるのが現在のネジール君

治療のチームを組んでおり、若手医師はすでにか
なりの技術を身につけていました。こうして、た
った一人からのスタートが、医師への研修に広が
り、その医師が大きく成長し、次世代の若手医師
や医学生を育成するということにつながってい
ることを確認しました。

さらにネジール君ですが、現在では13歳とな
り、2008年には金沢を再訪し大学病院で義眼の取
替えと経過を見たところ、病気は完治したとい
えるところの診断をいただいていたいました。

今回、ネジール君の家から数分のところにある
学校を訪問すると、クラスメイトたちと大騒ぎを
しながら遊んでいる彼の様子を見ることができま
した。明るく、前を向き、すつかりと地に足を
つけて生きているのだなと思いました。

美しいプリズレンの町並みは、10年前と比べ
と嘘のように普通の生活の中に溶け込んでいま
した。もちろん、道路にはコソボ治安維持部隊の軍
車や軍人姿が多く見られますが、停電など不
ことはまだまだあるようですが、2008年に独
たばかりの新しい小さな国は、活気に満ち溢
していました。

ネジール君の10年間をとおして、人道支援
人の人を助けること、多くの人を助けること
味をもう一度考える機会となりました。その
かけは、フジテレビの「奇跡体験！アンビリバ
で放映される予定（5月21日）です。AMDA
つてきたことも含めて、寄付をお寄せくださ
皆様にもこのような活動があったということ
つていただければと思います。もちろん、AV
の現地での活動は、これがメインではなく、あ
でもより多くの人々への診療活動が主でした。
最後に本音を漏らしますと、このネジール君
とは仕事が終わった深夜におこなうことが多
へとへとだったという記憶しか残っているな
りするのです。ですから、このような結果にな
のは、誰の意図でも、シナリオがあったわけ
なく、ネジール君が幸運の持ち主だったこと、
て、彼は今後も自分の人生を切り開いて進ん
くのだろうなと、今回の再訪で確信したこと
伝えたいと思います。